

珠洲市子ども未来創造会議～早稲田大学の学生と珠洲の未来を考えるワークショップ～
実施報告

第1 小学生

1 実施概要

日時	2026 年 3 月 2 日（月）10 時 10 分～11 時 40 分
開催形式	会場・オンライン併用
開催場所	本会場：珠洲市民図書館、サテライト会場：各学校
参加人数	現地参加児童：30 名、早稲田大学学生：15 名
対象	市内小学校 4～6 年生全生徒（各学校から数名ずつ代表者が現地参加）
主旨	珠洲市復興計画策定にあたり実施した 2 回のワークショップの経験を生かし、継続的に子どもたちから意見聴取を行う機会を設ける。 早稲田大学の学生と交流をしながら生徒の意見を聴き取ることで、普段触れ合わない学生から刺激を受け、多様な発想を持ち、考えを深める機会とする。
内容	(1) アイスブレイク・自己紹介 (2) 子どもの意見表明権について解説を行い、意見を話すことの意義を理解する (3) 過去のワークショップで話し合ったことが実践されている事例の紹介 (4) 珠洲市復興計画の紹介 (5) 意見聴取ワークショップ 「珠洲に小学生を呼ぶにはどうたら良いか」のテーマでグループごとに意見を出し合い、議論した。終了後、本会場・オンライン会場から議論の結果について発表を行った。

2 ワークショップ結果

(1) 本会場 A グループ

●議論に上がったテーマ

イベント、海、遊び場、交流、自然、情報発信、ものづくり、お店

●提案の具体例

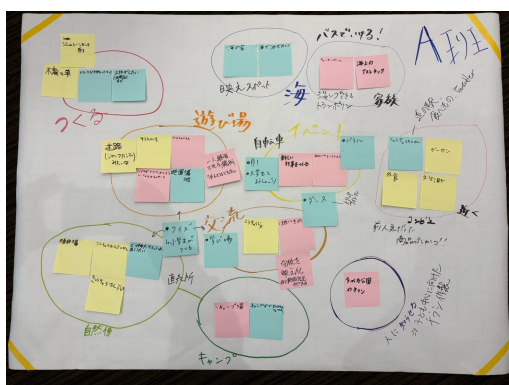
- ① イベント：大学生との交流、新しい行事、ダンスイベントなど
- ② 海：海水浴、海の家・映えスポット、海上アスレチックなど
- ③ 遊び場：遊園地、迷路、子どもの職業体験パークなど
- ④ 交流：地域の人と交流する場、小学生の作るクイズなど
- ⑤ 自然：動物たちとのふれあい、昆虫博物館、直売所など

- ⑥ 情報発信：子どもに向けたチラシ作成（公園のチラシ）
- ⑦ ものづくり：工作をする場（木製の車、日用品など）
- ⑧ お店：文房具屋、ゲームセンター、外食、コンビニ、道の駅

●議論のまとめ

- ・ 海に関する施設、キャンプ場など珠洲の自然をそのままもしくは活かした施設、遊び場を求める意見が多かった。
- ・ ゲームセンターなどの娯楽施設だけでなく、近くに文房具を買えるお店を求めている。
- ・ 海水浴をしたいという声が特に多かった。
- ・ ただ遊ぶのではなく、学びながら楽しめる機会を作りたいという意見も多かった。
- ・ 歳が近すぎず、離れすぎてもいない大学生は小学生にとってちょうどよい距離感のようで、大学生と様々なお話をして交流したいとの声があった。
- ・ 遊び場だけでなく学び場を求めている、その中でクイズや大学生との交流、自然に関することも盛り込めるのではないかと意見を出し合う中でまとまっていった。

●模造紙



●グループの様子



(2) 本会場 B グループ

●議論に上がったテーマ

イベント、遊び場、自然、観光・お店

●提案の具体例

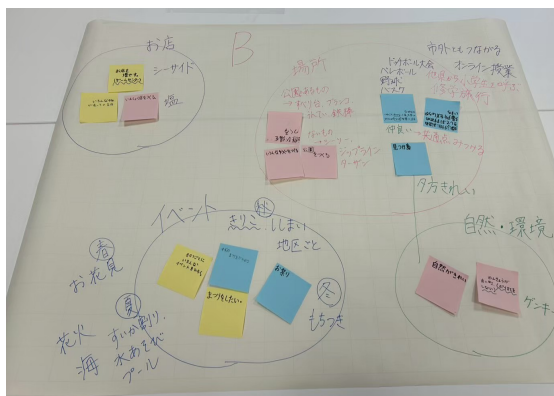
- ① イベント：季節ごとのイベント
- ② 遊び場：公園や遊具を増やす、スポーツ大会
- ③ 自然：環境に良い街づくり、見附島の夕焼け
- ④ 観光・お店：飲食店を増やす（塩に関する料理の提供）、ショッピングモールなど

●議論のまとめ

- ・ 季節ごとにイベントを開催するという意見が出た（春：お花見、夏：スイカ割り、水遊び、プール、花火、海、秋：キリコ、獅子舞、冬：餅つき）

- ・ 珠洲で有名なキリコ、獅子舞は他県の人と交流しやすいという意見が出たほか、季節ごとにイベントを開催すれば珠洲に人が集まるのではんという意見があった。
- ・ 遊び場（特に公園）が少ないため、公園を増やせば他県の人と遊びやすく、多くの人が来てくれるのではという意見が出た。
- ・ 見附島は自然が綺麗な場所であるため、見附島をアピールして知ってもらおうという意見が出た。
- ・ オンライン授業が日常化しているので、オンライン授業で珠洲の楽しい場所を紹介し、来てもらおうという意見が出た。
- ・ ポイ捨てが増えているという現状から、自然環境に良い街づくりをしたいとの意見があった

●模造紙



●グループの様子



(3) 本会場 Cグループ

●議論に上がったテーマ

イベント、発信、遊び、食べ物、勉強

●提案の具体例

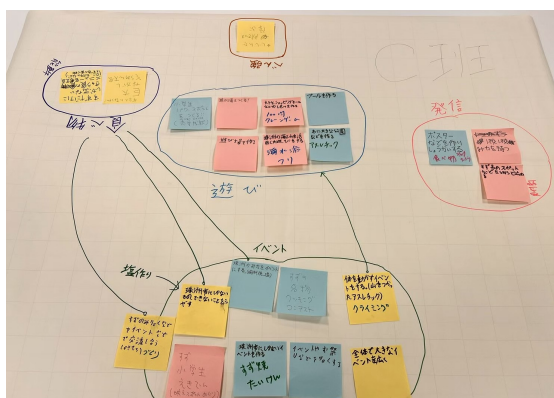
- ① イベント：山を生かしたアスレチック、珠洲の名物クッキング、珠洲焼体験、塩づくり体験、かきもちづくり、珠洲小学生駅伝
- ② 発信：珠洲市のスポットをSNSで広める、ポスターを作る、学校ごとの魅力発信
- ③ 遊び：プール、公園、海山を活用した遊び（海水浴、釣り）
- ④ 食べ物：巨大流しそうめん、珠洲市限定の給食（カニ、カボチャなど）
- ⑤ 勉強：地震から防災を学ぶ

●議論のまとめ

- ・ 全体的に珠洲市の魅力を中心とした意見が多く出され、イベントに関しては、珠洲の名物クッキング、珠洲焼体験、塩作り体験、かきもちづくりなど、地元の特色を生かしたアイデアが多く上がった。

- ・ 小学生が主体となるような自分がやってみたいという意見のほかに、珠洲市の魅力が他の人にも伝わるような意見まで幅広い意見が出た。
- ・ 珠洲市の自然を活かしたものや特産品を使ったイベントなど「イベント」×「遊び」についての内容が多かった。
- ・ 自身から防災を学ぶという具体案も上がり、被災経験を前向きに生かす意見も出た。

●模造紙



●グループの様子



(4) 本会場 D グループ

●議論に上がったテーマ

遊び、食べ物、観光地、イベント、魅力、お店

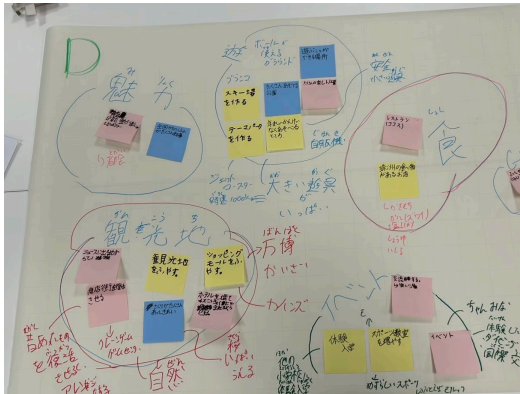
●提案の具体例

- ① 遊び：公園、スキー場、テーマパーク、年齢関係なく遊べる場所（安全な遊具）
- ② 食べ物：レストラン、珠洲の名産がある店（かきもち、カニ、塩）
- ③ 観光地：万博、商店街の復活、桜、ホテルなど
- ④ イベント：珍しいスポーツ教室、小学校体験入学、国際交流など
- ⑤ 魅力：能登を宣伝するポスターを都会に貼る、全国から支援があることの宣伝
- ⑥ お店：GU、ショッピングモール

●議論のまとめ

- ・ 自分が欲しいもの・やってほしいことについての意見が多く出され、テーマパーク、ショッピングモール、衣料品店を作る等の意見があった。
- ・ 食べ物に関しては、珠洲の名産を扱う店を作るアイデアが出され、かきもち、カニ、塩等の具体例が上がった。
- ・ 観光地に関する意見は、他県の人へのアピールを意識しており、珠洲の自然を生かすことや、万博開催等の意見が出た。
- ・ 小学生を呼ぶというテーマを意識し、小学校の体験入学を行うという意見も上がった。

●模造紙



●グループの様子



(5) 本会場 E グループ

●議論に上がったテーマ

イベント・地域交流、遊び場、自然、観光地

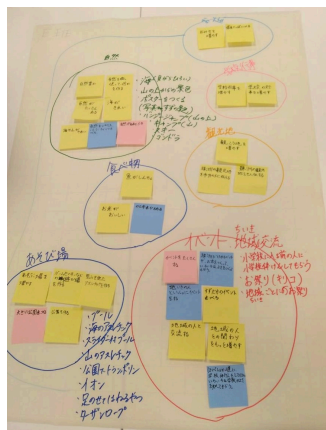
●提案の具体例

- ① イベント・地域交流：小学校体験入学、キリコ祭り、地域ごとのお祭りなど
- ② 遊び場：プール、海上アスレチック、ゲームセンター、大きな公園(トランポリンなど)、里山を使ったアスレチック(ターザンロープの設置)など
- ③ 自然：海で貝殻拾い、山でバンジージャンプ・キャンプ場、スキー場・ゴンドラをなど
- ④ 観光地：観光地を増やす、珠洲の観光地を市外の人に宣伝する

●議論のまとめ

- ・ 「イベント・地域交流」、「遊び場」、「自然」のトピックに関する意見が多く出され、特に、「自然」×「遊び場」について関心が高かった。
- ・ 山の活用、海の活用という観点からは様々なアイデアが出ていた。
- ・ イベントの実施に関して、保育児童を対象とした小学校の入学体験というこれから小学校に入学する子ども向けのアイデアが出たのが特徴的だった
- ・ 珠洲の山の景色からの写真をポスターにし、珠洲市を宣伝するという意見も出た。

●模造紙



●グループの様子



第2 中学生

1 実施概要

日時	2026 年 3 月 2 日（月）13 時 40 分～15 時 10 分
開催形式	会場・オンライン併用
開催場所	本会場：珠洲市民図書館、サテライト会場：各学校
参加人数	現地参加生徒：27 名、早稲田大学学生：15 名
対象	市内中学校 1～2 年生全生徒（各学校から数名ずつ代表者が現地参加）
主旨	珠洲市復興計画策定にあたり実施した 2 回のワークショップの経験を生かし、継続的に子どもたちから意見聴取を行う機会を設ける。 早稲田大学の学生と交流をしながら生徒の意見を聴き取ることで、普段触れ合わない学生から刺激を受け、多様な発想を持ち、考えを深める機会とする。
内容	(1) アイスブレイク・自己紹介 (2) 子どもの意見表明権について解説を行い、意見を話すことの意義を理解する (3) 珠洲市復興計画の紹介 (4) 珠洲市復興計画とこれまでのワークショップで出された意見との関連性についての紹介 (5) 意見聴取ワークショップ 「珠洲に人を呼ぶにはどうしたら良いか」のテーマでグループごとに意見を出し合い、議論した。終了後、本会場・オンライン会場から議論の結果について発表を行った。

2 ワークショップ結果

(1) 本会場 A グループ

●議論に上がったテーマ

自然、施設、伝える、移動、学校のルール

●提案の具体例

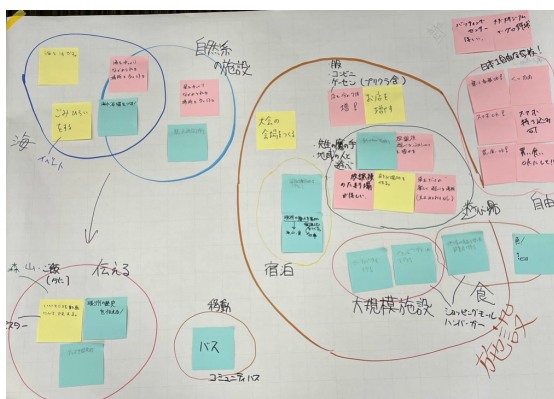
- ① 自然：星・海を眺める場所、海水浴場、ゴミ拾いイベントなど
- ② 施設：お店を増やす、珠洲の魅力を集めた宿泊施設、放課後遊べる公共施設、学生だけで楽しく遊べる場所、屋内の遊び場、大規模施設（テーマパーク、ショッピングモール）、地域の食品を使った飲食店、バッティングセンター、珠洲スタジアムでプロ野球など
- ③ 伝える：珠洲の歴史、PR 動画（森・山・食べ物）、グッズの開発
- ④ 移動：コミュニティバス
- ⑤ 学校のルール：スマホ持ち込み可、買い食い OK、靴自由、私服 OK、日本一自由な学

校として有名になる

●議論のまとめ

- ・ 施設についての意見が多く出た。海をはじめとした珠洲の魅力を活かした施設を求める声が挙がる一方で、遊ぶ場所を求める声も多く挙がり、学校外における自分たちだけの居場所を求めているように感じられた。
- ・ 珠洲の魅力としては、海や山・森、星、食が挙がり、珠洲の魅力を活かそうという姿勢が見えた。他方で、珠洲の海でゴミ拾いをするというような、珠洲の良さを維持・発展させるという方向の意見も出た。
- ・ 珠洲について広報するという方向の意見も出ました。珠洲のいいところについての発信という意見のほか、珠洲の歴史についての発信という意見も出ました。グッズを開発するという意見も出ました。
- ・ お店についての意見も多く出され、服や文房具、部活動等で使うスポーツ用品など、生活に必要なものや欲しいものを調達するにあたっての不便を感じている様子が伺えた。公共交通機関が少なく移動が大変だという意見もあり、切実な思いが感じられた。
- ・ 学校のルールについての意見も活発に交わされ、自分たちが普段感じていることから、自由に意見が出された。

●模造紙



●グループの様子



(2) 本会場 B グループ

●議論に上がったテーマ

施設、自然、イベント、食べ物

●提案の具体例

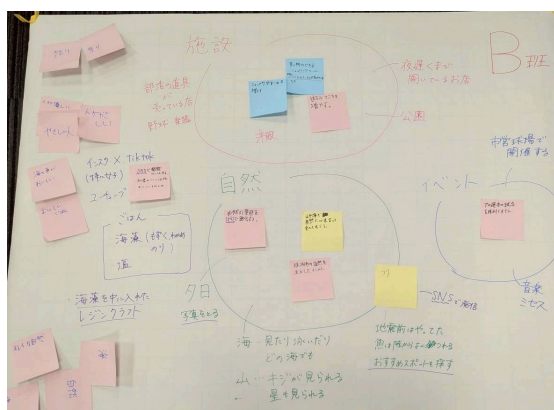
- ① 施設：ショッピングモール、夜遅くまで開いている店、部活の道具が売っている店、アニメのグッズがある店、洋服店、遊び場
- ② 自然：自然の景色の写真を SNS で発信する、山や海で自然とのふれあい、釣り体験（おすすめスポットの紹介）
- ③ イベント：プロ野球の試合、音楽イベント

④ 食べ物：おいしいものを SNS で発信、海藻・塩、海藻を入れたレジンクラフト

●議論のまとめ

- ・ このグループでは部活動に熱心に取り組む生徒が多くいたため、部活動に関係する提案が出た。
- ・ 自分たちにできること、という視点で考えるのは難しく、こうなったらいいという願望が強く出てしまうことがあった。
- ・ SNS を利用した発信はどのテーマでも話題になった。中学生にとってなじみやすかつ自分たちにもできそうな点である点が大きな理由と考えられる。
- ・ 一方で中学生男子は SNS を使わない人・興味がない人も多く、ピンと来ていない様子や、アイデアが限定的となる生徒もいた。

●模造紙



●グループの様子



(3) 本会場 C グループ

●議論に上がったテーマ

店、アイドル、商品、スポーツ、会場、学校、クラウドファンディング

●提案の具体例

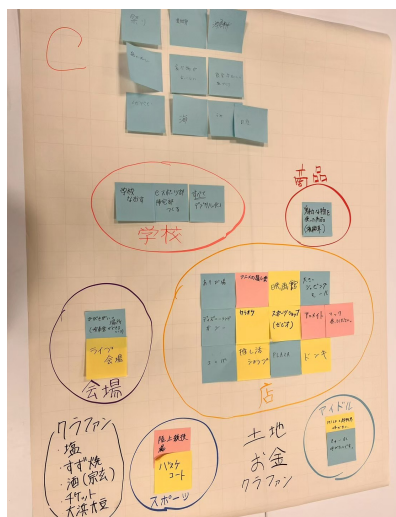
- ① 店：カラオケ、ショッピングモール、映画館、チェーン店、推し活ショップ、アニメの展示会、テーマパーク
- ② 商品：海藻を使った魅力的な料理やグッズを作る
- ③ アイドル：MILK、超特急、CUTIE STREET を呼びたい
- ④ スポーツ：陸上競技場、バスケットコートがほしい
- ⑤ 会場：ライブ会場、音響設備の整った施設（吹奏楽のため）
- ⑥ 学校：学校の修繕、教材のデジタル化、部活動（帰宅部を作る、e スポーツ部を作る）
- ⑦ クラウドファンディング：返礼品（塩、珠洲焼、日本酒、大浜大豆など）でアピール

●議論のまとめ

- ・ どんどんアイデアが出たのは(1)店についてだった。どれも珠洲市内にはなく金沢市内で楽しめるもので、特にカラオケは需要が高く切望する声が多かった。

- ・ 一通り意見が出てから「でも、どれも土地と金がないとできないね」と、台紙に「土地 お金」と書き込んで夢物語のような空気になったが、集金手段として⑦クラファンのアイデアが出てから議論が活発になった。返礼品の候補を挙げる中で、地元の特産品がたくさん出てきた。
- ・ ②商品は、実際に学校で実践した経験をもとに意見が出された。
- ・ 部活動など自身の学校生活からくる意見（④～⑥）も多く出された。今回設定した「珠洲市に人を呼ぶには」というテーマには直接結びつかないかもしれないが、文系・運動系を問わず成果を発表できるきちんとした場所が存在することと、その場に立つ経験ができる機会を求めていると感じた。
- ・ 全体を通して「自分が珠洲を好きになるには」という視点での意見が多く出されていた。

●模造紙



●グループの様子



(4) 本会場 D グループ

●議論に上がったテーマ

交通、イカ、食、場所、魅力、祭り、自然

●提案の具体例

- ① 交通：交通機関の利便化、金沢までの電車、野生動物対策
- ② イカ：イカの像を NHK に取材してもらう
- ③ 食：若者が好きそうなチェーン店を作る、地元の食べ物（カニ、能登牛、ぶり）が食べられるイベント、朝からビールを飲める場所を作る
- ④ 場所：焼き物体験、宿泊施設を増やす、リラックスできる場所、教会、ショッピングモール、洋服店、家電量販店、広い体育館（ハンドボール、ピックボール）
- ⑤ 魅力：ルーティーン動画、テレビ取材、ホームステイ
- ⑥ 祭り：あばれ祭り、キリコ祭り、屋台がたくさん出る祭り（リンゴ飴、からあげなど）

⑦ 自然：塩づくり体験、山登り、自然を生かしたアスレチックなど

●議論のまとめ

- ・ 外部からのアクセス改善や、若者を中心とした住民の生活利便性の向上、そして地域の豊かな観光資源をどう活かすかという多角的な視点が必要であるという理由から、「交通アクセスの改善・生活インフラの整備」や「地域の食・伝統文化（祭り）を活かした体験型コンテンツ」に関する意見が多く出た。
- ・ 特に「若者が日常的に集まれる全国チェーン店や大型商業施設の誘致」と「特産のイカや、あばれ祭り・キリコ祭りなどの独自資源をテレビ等のメディアに取材してもらうことによる PR の強化」について関心が高く、実現を求める声が多かった。

●模造紙



●グループの様子



(5) 本会場 E グループ

●議論に上がったテーマ

イベント、お店、施設、自然、食べ物

●提案の具体例

- ① イベント：SNS での動画発信、ワークショップ、特産品ガチャ、塩田体験、酒造訪問、観光ツアー（自然・災害遺跡）
- ② お店：ショッピングモール、ゲームセンター、地場野菜を販売する道の駅
- ③ 施設：子どもが集まれる場所、広場、市場、オブジェ
- ④ 自然：海がきれい、空気がおいしい
- ⑤ 食べ物：魚がおいしい

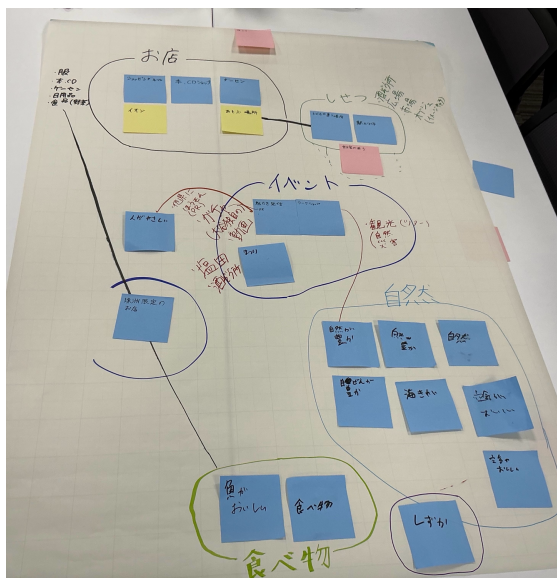
●議論のまとめ

- ・ 「イベント」・「施設」・「お店」について多く意見が出され、「イベント」では、実際に大谷小中によって行われている地域復興のためのガチャが実現例として出された。
- ・ また、中学生に馴染みのある SNS を活用した地域の動画発信という意見や、他県に訪問して地域を PR するという意見も挙げられた。
- ・ 加えて、祭りを実施するという観点から、珠州市で有名なものを考えた結果、塩田と酒

造所にスポットライトが当たるイベントを実施するという意見が出された。

- ・ 「自然」と掛け合わせて、自然災害の被害を体験するツアーという意見も出された。
- ・ 能登の好きなところとしてお祭りが多いことや、野菜が美味しいことが挙げられたが、これらの意見をどう呼び込みに繋げるか話し合ったところ、そもそも外から人が来て欲しいとは思わないとのことだった。人が多くなることで好きな能登の雰囲気が変わってしまうことを危惧してのことであり、中学生の視点からの地元への想いが感じられた。

●模造紙



●グループの様子

